

第67期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



鹿児島工場

おいしさ、ふれあい。
フリマハム

証券コード:2281



株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの当社グループの経営成績につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成25年12月

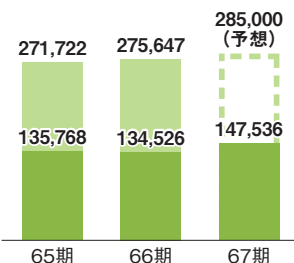
代表取締役社長 松井鉄也

連結財務ハイライト

■ 売上高

1,475億円
(前年同期比9.7%増)

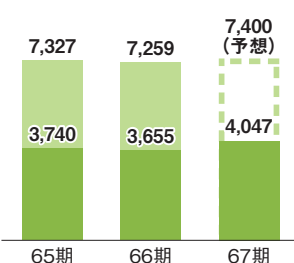
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 営業利益

40億円
(前年同期比10.7%増)

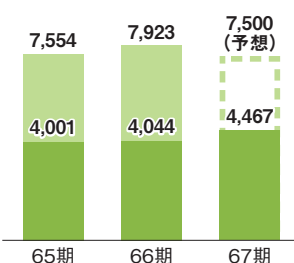
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 経常利益

44億円
(前年同期比10.4%増)

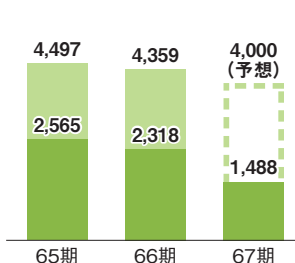
■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



■ 四半期(当期)純利益

14億円
(前年同期比△35.8%減)

■ 中間期 ■ 通期 (単位: 百万円)



※ 予想数値は、11月6日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境などの変動により、予想とは異なることがあることをご承知おきください。



上半期営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指す経済政策や金融緩和策の期待感から、為替相場の円安や株価の上昇が進み、企業収益の回復、雇用情勢や個人消費の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調を示してきました。当業界におきましては、引き続き消費者の低価格志向による販売価格の低迷という厳しい事業環境下、ハム・ソーセージならびに加工食品の販売数量は堅調に推移しましたが、食肉においては牛肉や豚肉の消費に改善がみられるものの、円安や産地高による輸入食肉のコストアップや国産食肉相場の上昇により仕入コスト増となりました。また、原材料・包装資材・ユーティリティコストのアップや販売競争の激化など事業環境は極めて厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み、収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,475億36百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は40億47百万円(同10.7%増)、経常利益は44億67百万円(同10.4%増)、四半期純利益は14億88百万円(同35.8%減)となりました。なお、10月に発生したロールキャベツの自主回収に関連する費用として合理的に見積もった金額6億58百万円を特別損失に計上しております。



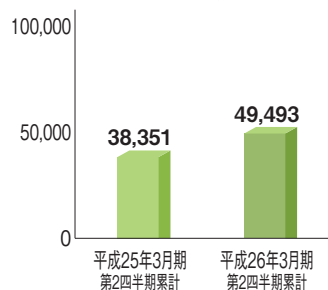
セグメント概況

● 食肉事業本部

食肉事業本部においては、低価格商品が中心のマーケット展開など厳しい事業環境となりましたが、「ハーブ三元豚」、「味わい葡萄牛」などのオリジナルブランド商品の拡販や新規・深耕開拓に注力し、売上高・販売数量とも前期を上回る結果となりました。また、加工生肉などを生産するプロセスセンターを新たに稼働させ、今後の拡販に向けた基盤の整備も行いました。

この結果、売上高は494億93百万円(前年同期比29.1%増)となりましたが、仕入コストの上昇など採算の悪化により、セグメント損失は53百万円(前年同期はセグメント利益4億24百万円)となりました。

食肉事業本部(売上高) (単位:百万円)



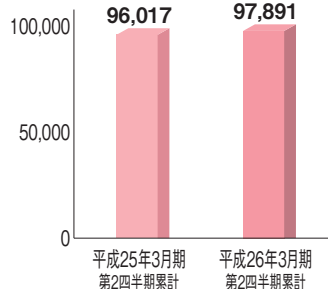
● 加工食品事業本部

〈ハム・ソーセージ部門〉

ハム・ソーセージ部門においては、引き続き「香薫あらびきポークウインナー」をはじめとする重点商品の拡販や世帯・生活スタイルの変化や利便性を考慮した新商品の投入を実施しました。また、得意先の新規開拓、プライベートブランド商品への取り組み、中食・外食向けの業務用商品についても開発・拡販に努めました。

生産面においては円安による原材料、包装資材、ユーティリティコストのアップなど極めて厳しい状況となるなか7月より順次商品価格の改定を実施するとともに、引き続き省力化・効率化投資を積極的に行い、商品規格数の削減、製造コスト削減、生産性向上を具現化し、コスト競争力強化に努めました。こうした生産・販売が一体となった取り組みの結果、ハム・ソーセージ部門においては前期を上回る実績となりました。

加工食品事業本部(売上高) (単位:百万円)



〈加工食品部門〉

加工食品部門におきましては、お客様のニーズに応えるべくコンシューマー商品、業務用商品とも売上、数量の拡大に努めた結果、前期を上回る販売実績となりました。また円安により輸入商品の採算が悪化し、ハム・ソーセージ部門と同様に製造コストがアップしましたが、商品価格の改定を実施するとともに生産性向上に努めました。コンビニエンスストア向けのベンダー事業については引き続き店舗増と生産基盤の拡充、設備の高度化ならびに商品開発と確かな商品づくりを背景に収益を大きく伸ばしました。

以上の結果、加工食品事業本部(ハム・ソーセージ部門及び加工食品部門)においては、消費者の低価格志向および同業他社との競争激化という厳しい環境ではありましたが、売上高は978億91百万円(前年同期比2.0%増)となり、セグメント利益は41億7百万円(同23.0%増)となりました。



中期経営計画



「なくてはならない会社」を目指し、総合的な営業力強化により、収益の基盤となる売上拡大を具現化し、将来的に売上高および利益水準を2010年度比の2倍規模のグループとする。
 第一ステップ(2011~2013年度計画)のローリングプランとする。



成長戦略

流通サイドへの付加価値を加えたサービスの提供・販売

- プロセスセンターの拡大

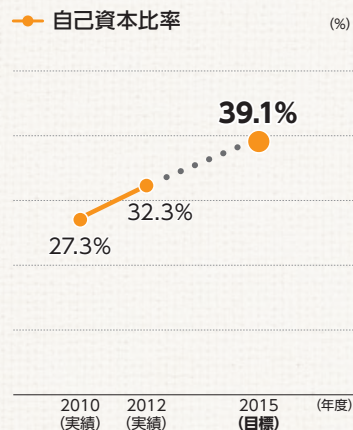
伊藤忠グループ内の連携・協業の推進

- 伊藤忠飼料(株)との業務提携の推進
- 相互業務内容の連携による営業・顧客戦略の共有(協業機会の創出)
- 海外におけるハム・ソーセージ、加工食品事業の展開

連結損益 中期経営計画(ローリングプラン)

(億円)

	2010年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (予想)	2014年度 (計画)	2015年度 (計画)
売上高	2,526	2,756	2,850	2,930	2,980
営業利益	56	73	74	76	87
経常利益	59	79	75	77	88
当期純利益	28	44	40	42	51



(注) 実績値は1億円未満切り捨て



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前期末	当第2四半期末	科目	期別	前期末	当第2四半期末
		平成25年3月31日現在	平成25年9月30日現在			平成25年3月31日現在	平成25年9月30日現在
資産の部				負債の部			
流動資産		53,352	51,832	流動負債		49,677	49,511
現金及び預金		8,886	5,964	支払手形及び買掛金		30,812	32,107
受取手形及び売掛金		29,705	29,106	短期借入金		1,304	1,251
商品及び製品		9,790	11,708	1年内返済予定の長期借入金		4,440	4,198
仕掛品		330	373	未払法人税等		2,116	1,885
原材料及び貯蔵品		1,214	1,209	賞与引当金		1,134	1,255
繰延税金資産		611	664	役員賞与引当金		30	—
その他		2,827	2,812	その他		9,839	8,812
貸倒引当金		△16	△8	固定負債		18,708	18,336
固定資産		57,285	60,033	社債		20	—
有形固定資産		46,675	47,886	長期借入金		9,249	8,954
建物及び構築物(純額)		18,484	17,936	退職給付引当金		4,035	4,120
土地		18,562	18,547	資産除去債務		110	110
その他(純額)		9,628	11,402	その他		5,293	5,151
無形固定資産		828	879	負債合計		68,386	67,848
投資その他の資産		9,781	11,267	純資産の部			
投資有価証券		5,007	5,216	株主資本		32,330	33,375
前払年金費用		1,985	2,686	資本金		3,363	3,363
その他		3,170	3,786	資本剰余金		3,964	3,964
貸倒引当金		△381	△422	利益剰余金		25,068	26,115
資産合計		110,637	111,865	自己株式		△66	△68
				その他の包括利益累計額		3,405	3,523
				その他有価証券評価差額金		1,072	1,177
				繰延ヘッジ損益		△8	△18
				土地再評価差額金		2,396	2,390
				為替換算調整勘定		△55	△26
				少数株主持分		6,515	7,118
				純資産合計		42,251	44,017
				負債純資産合計		110,637	111,865



連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期	当第2四半期
		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
売上高		134,526	147,536
売上原価		111,916	124,437
売上総利益		22,610	23,099
販売費及び一般管理費		18,954	19,051
営業利益		3,655	4,047
営業外収益		652	619
営業外費用		264	199
経常利益		4,044	4,467
特別利益		703	136
特別損失		305	803
税金等調整前四半期純利益		4,442	3,799
法人税等		1,582	1,640
少数株主損益調整前四半期純利益		2,859	2,159
少数株主利益		541	671
四半期純利益		2,318	1,488

連結キャッシュ・フロー計算書

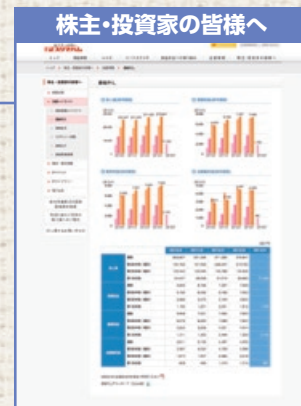
(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期	当第2四半期
		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー		5,335	2,816
投資活動による キャッシュ・フロー		△3,246	△4,391
財務活動による キャッシュ・フロー		△5,159	△1,374
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△28	17
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△3,098	△2,931
現金及び現金同等物の 期首残高		10,745	8,535
現金及び現金同等物の 四半期末残高		7,646	5,603



ホームページをリニューアル

本年10月にホームページをリニューアルし、
ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの充実を図りました。



数値情報をダウンロードできます。

商品コンセプトなどをわかりやすくお伝えします。

商品情報

株主・投資家の皆様へ

決算概要を四半期ごとに表記するなど内容の充実を図りました。

リニューアルのポイント

レシピ、ミートスタジオ

家庭で役立つレシピなどをご紹介します。

食品安全への取り組み

当社の安全・安心に関する取り組みをご紹介します。

企業情報

会社の現況をわかりやすくお知らせしています。

CLICK!

<http://www.primaham.co.jp>



FSSC22000の認証取得



FSSCのロゴマーク

プリマハムグループはHACCP、ISO 22000などの管理手法を基軸に、安全・安心なものづくりに取り組んでおります。本年5月、ISO22000をベースに一般衛生管理をより充実させた規格であるFSSC22000を本社、三重工場ならびに秋田プリマ食品(株)において認証取得しました。今回の取得を機に他の事業所へも積極的に展開していきます。

食物アレルギー物質定量検査キット

『アレルギーアイ®ELISA キウイフルーツ』

基礎研究所では適切なアレルギー表示をサポートするために、2010年より「卵、乳、小麦、そば、落花生」のアレルギー検査キットを販売しております。

本年8月、新たに、「アレルギーアイ®ELISA キウイフルーツ」を発売し、検査キットの拡充を進めています。



『アレルギーアイ®ELISA キウイフルーツ』



鍋三味 鍋用スープシリーズ

日本三大地鶏のひとつ「比内地鶏」の肉付きガラを原料に使用し、本場秋田県の工場生産している鍋用スープです。昨年もお好評頂いた「濃縮タイプ」、「ストレートタイプ」に新発売の「みそ鍋(ストレートタイプ)」を加え、「いつもの鍋を贅沢に。」をコンセプトに好評発売中です。





鍋三味 生つくねシリーズ

「生つくねシリーズ」はそれぞれの具材ごとにイメージカラーを設定していますが、今年はラベルデザインを一新し、イメージカラーが店頭でよりわかりやすく、はっきりと見えるようにしました。また、ラベルにQRコードを入れ、ホームページ上で生つくねを使ったアレンジレシピをご紹介します。



<http://www.primaham.co.jp/special/nabezanmai/>



生つくねプレーン



チーズ入り生つくね



なんこつ入り生つくね



ゆず入り生つくね



もち入り生つくね



あい鴨肉入り生つくね



7種の野菜入り生つくね



ピリ辛生つくね



単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっております。1株から999株の単元未満株式につきましては、証券市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約がございます。

当社では単元未満株式の「買取請求制度」および「買増請求制度」を採用しておりますのでご案内申し上げます。

■単元未満株式の買取・買増請求制度の概要



(ご注意)

1. 単元未満株式の買取・買増請求のお手続きにつきましては、単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、特別口座に記録されている場合は後述の特別口座の口座管理機関にお問合せください。
2. 中間および期末などの基準日の権利確定前一定期間ならびに受付停止期間が設定された場合は、買取・買増請求の受付を停止させていただきますのでご承知おき下さい。
3. 買取・買増請求制度のご利用にあたっては、当社所定の手数料をご負担頂きます。
4. 特別口座以外の口座管理機関(証券会社等)でお手続きされた場合、取次手数料を請求される場合がございます。

特別口座をご利用の株主様へのご案内

特別口座とは、株券電子化移行時に株券をほふり（証券保管振替機構）に預託しなかった株主様のために、当社が三井住友信託銀行に開設した口座です。

特別口座に記録されている株式は、証券市場では売却ができません。
株式に係るお手続きを容易にするためにも、証券会社に口座を開設し、特別口座からの振替を行ってください。

■特別口座から証券会社の口座への振替のお手続き（**1** **2** **3** がお手続きの順番となります）



（ご注意）

1. **2** のお手続きにつきましては、下記の特別口座の口座管理機関にお問合せください。

特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

2. すでに証券会社等に口座をお持ちの場合、**1** のお手続きは必要ございません。

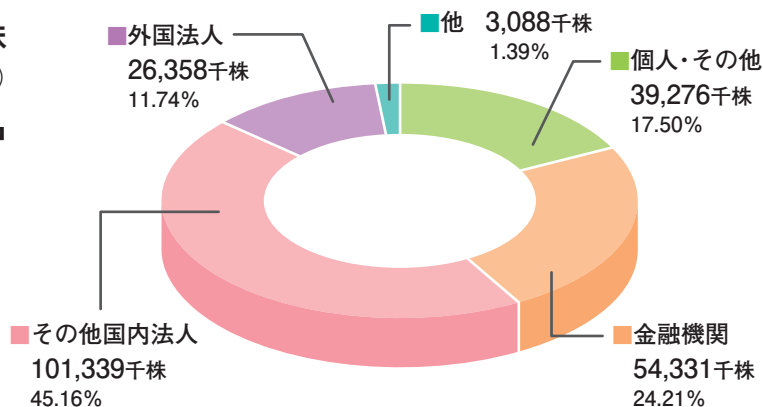


株式情報(単体)

(平成25年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 **350,000,000株**
- 発行済株式総数 **224,392,998株**
(自己株式610,844株)
- 株主数 **13,275名**

●所有者別株式分布状況



●大株主

大株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社*	88,330	39.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,978	5.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,619	2.94
株式会社サンショク	5,000	2.22
三井住友信託銀行株式会社	4,613	2.05
学校法人竹岸学園	4,541	2.02
株式会社みずほ銀行	3,832	1.70
農林中央金庫	3,565	1.58
THE CHASE MANHATTAN BANK N.A. LONDON SECS LENDI NG OMNIBUS ACCOUNT	3,239	1.44
MELLON BANK,N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	2,946	1.31

(注) *印の株主は、発行済株式(自己株式を除く。)の総数の10分の1以上の株式を保有しています。



会社概要

(平成25年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	プリマハム株式会社 Prima Meat Packers, Ltd.
本社	〒140-8529 東京都品川区東品川4丁目12番2号 TEL:03-6386-1800
代表者	代表取締役社長 松井 鉄也
事業内容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造販売
創業	昭和6(1931)年9月1日
設立	昭和23(1948)年7月9日
資本金	33億63百万円
従業員数	2,171名
支店等	東北支店(宮城)・東京支店・中部支店(愛知)・ 関西支店(大阪)・中四国支店(広島)・九州支店(福岡)
工場	北海道工場・茨城工場・三重工場・鹿児島工場
物流センター	関東物流センター(茨城)・三重物流センター・ 福岡物流センター 他7ヶ所
研究機関	基礎研究所(茨城)・生産技術開発部(茨城)
グループ会社	31社 連結子会社 28社 持分法適用関連会社 3社

■ 役員

代表取締役社長	松井 鉄也
専務取締役	梶井 香樹
専務取締役	石川 正則
常務取締役	大森 雅夫
取締役	前田 茂樹
取締役(社外)	山下 丈
常勤監査役	岩下 誠
常勤監査役(社外)	奥平 博之
監査役(社外)	江名 昌彦

株主メモ

- 事業年度
4月1日から翌年の3月31日まで
- 定時株主総会
毎年6月に開催いたします。
- 基準日
定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
その他、必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数
1,000株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- お問い合わせ先・郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 - ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
- 公告の方法
電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京府において発行する日本経済新聞に掲載して行う。



PJ-52



TZ-60

フ・リマハム株式会社

東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー 〒140-8529
電話 03-6386-1800
<http://www.primaham.co.jp/>

